

回 覧

令和4年度社会を明るくする運動小山町推進委員会事業報告

皆様に「社会を明るくする運動活動寄金」として、お寄せいただいた額は、297,010円でした。

また、小山町社会福祉協議会から 60,000円の助成金をいただいて、下記事業に使用させていただきましたので報告いたします。

《令和4年度主要事業について》

- 1 町内小・中学校及び高等学校の児童、生徒のみなさんに「社会を明るくする運動」のチラシを配布し「更生保護について」理解を深めてもらいました。
- 2 町内小・中学生に「社会を明るくする運動」の作文コンテストに応募を呼びかけました。6名の児童、生徒のみなさんが静岡県作文コンテストの佳作に入賞いたしました。
- 3 ふれあい広場でパネル展示と来場者にチラシやホゴちゃんサラちゃんのぬりえを配布し「更生保護について」啓発活動を行いました。
- 4 更生保護女性会によるボランティア事業として、「更生施設静岡市少年の家」の食事支援としてお米を寄付いたしました。

*更生施設静岡少年の家＝保護観察対象で身元引き受けが無い子らのための更生施設です。
自立更生援助と再犯防止を目的としています。

社会を明るくする運動とは

犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。



一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。



#生きづらさを
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第73回 社会を明るくする運動

更生保護法人 日本更生保護協会・更生保護法人 全国保護司連盟

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・
再犯防止啓発月間です。

更生ペンギンの
サワちゃん 更生ペンギンの
ホゴちゃん

社明 しゃめい

Q 検索

